

ねいの里 ホオホオニュース



2012年のアサギマダラ・マーキング 2012年12月28日現在
富山アサギマダラ調査グループ

11年目を迎えたマーキング活動、今年のマーキング数は488頭と昨年の異常ともいえる1590頭からは大きく減少しました。再捕獲数も12月末現在3頭と過去最少です。過去4年間の実績は次のとおりです。

| 回数 | 年 | 調査参加者 (登録者数) | マーキング数 (捕獲数) | 県外で再捕獲 されたもの | 再捕獲したもの (県外で放蝶) |
|------|-------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------------|
| 第8回 | 2009年 | 40名 | 506 | 4 | 0 |
| 第9回 | 2010年 | 38名 | 425 | 7 | 0 |
| 第10回 | 2011年 | 34名 | 1,590 | 30 | 4 |
| 第11回 | 2012年 | 28名 | 488 | 3 | 0 |

- 1 今年の捕獲時期
今年の最も速いマーキング 6月2日 下新川郡朝日町小川ダム ♂ 藤条好夫さん
今年の最終マーキング 9月28日 富山市有峰 ♂ 山田一昭さん

- 2 マーキング場所
今年の488頭の内有峰が305頭、白木峰が168頭となっています。その他医王山、小川ダムなどです。昨年764頭がマーキングされた黒部市の僧ヶ岳林道が土砂崩れで不通となり、マーキング数の減少になったと思われる。

- 3 今年の再捕獲データ
(1) 県外で再捕獲されたもの (3頭)

| No | マーキング場所 | 標識日 | 標識者 | 再捕獲地 | 再捕獲日 | 再捕獲者 | 移動距離 km |
|----|---------|------|-------|---------|-------|------|------------|
| 1 | 有峰 東谷 | 9/8 | 大野倫太郎 | 長崎県佐世保市 | 10/12 | 伊藤雅男 | 787 |
| 2 | 有峰 東谷 | 9/14 | 荒城重義 | 山口県下関市 | 10/26 | 福村拓己 | 649 |
| 3 | 有峰 東谷 | 8/19 | 藤条好夫 | 高知県大月町 | 10/26 | 土居敬典 | - |

- (2) 県外で他県の調査員により放蝶され当グループが再捕獲したもの 0頭

- 4 特記事項
マーキング数は昨年の異常値を除けば、ほぼ例年通りでした。ただ再捕獲数が3頭（マーキング数の0.6%）と少ない数字でした。例年再捕獲率は約1%前後です。

活動報告

11月3日(土) ネーチャーゲームで遊ぼう

11月行事として、ネーチャーゲーム「私だけの地図づくり」を行いました。事前に指定した観察路を歩き、自分なりに気がついた事を地図に表示し、自分だけの地図を作りました。地図への表示は、絵や実物を貼り付けるなどします。また、観察路の途中に6枚の銀色をしたお宝葉っぱがあるので見つけてもらいます。当日はちょっと小雨でしたが、参加者は観察をしながら、材料等を採取し地図作りをしましたが意外と面白かったと好評でした。作品も個性的に仕上がり、お宝葉っぱを見つけた方には図書券が当たりました。お世話と準備をして頂いた川上さん澤田さん大変有難う御座いました。



里の山にっくにっくに

私のジュニアナチュラリスト活動

ジュニアナチュラリスト 西島 美優 さん
(富山市立大久保小学校6年)

私がジュニアナチュラリスト養成講座を受講しようと思ったきっかけは、以前ねいの里の行事に参加した時に、ナチュラリストの方々にいろいろなことを教えていただき、自分も生物についていろいろなことを知りたいなと思ったからです。

9月8日に初めて有峰でアサギマダラのマーキング調査をしました。私は湯浅先生の車で折立方面へ向かいました。前半全く見つけることができず、いないのかなと不安になりましたが、カルデラ展望台付近で見つけ、マーキングすることができました。



白いハンカチ振り

その後たくさんのアサギマダラにマーキングすることができ、とても貴重な経験になりました。また、移動中にハクバサンショウウオやキベリタテハなどを初めて見ることができました。

この調査で特に心に残っていることは、白いタオルでできた道具を振るとアサギマダラがスーッとタオルの方へ飛んできたことです。パラグライダーのように飛ぶ姿にとっても感動しました。

養成講座では、1日に100種、1年間では40000種もの生物が絶滅していると教えていただき、私はものすごくショックを受けました。今後、1種でも絶滅から救うことができるよう、もっと生物や地球環境のことを勉強したいです。講師の先生方、ねいの里の職員の方々、これからもよろしくお願ひします。



養成講座でネズミを観察中の西島さん(左端)

活動報告

キノコ狩りとキノコ汁を愛でる 10月8日(日)

10月8日秋晴れの爽やかな1日、ねいの里キノコ狩りに参加しました。家族連れやヤングの方・年配の方がたくさん参加しておられました。食べられるキノコと毒キノコの判定をして頂けるので嬉しいです。

自然博物館ねいの里の方から、注意事項などや説明「熊・蜂・蛇」などを聞き、山にはいりました。なかなか見つかりませんが、1時間余りで私の採れたキノコは、毒キノコのシロタマゴテングダケ・ニガクリダケ・カキシメジ・テングダケ等で、食べられるキノコはキョウジチチダケ・ノウダケ・タマチョレイダケ・ヌメリコウジでした。その後自然博物館広場でキノコ汁を頂きマイタケ・ヒラタケ・アミダケ・ナス等が入った秋の味覚を堪能しました。

家に帰り4種類の食べられるキノコに秋茄子も加えて味噌汁を作ってみました。キョウジチチダケは少し酸味がありました。ノウダケは生麩のような触感で、タマチョレイダケとヌメリコウジは歯ごたえも良くツルリと大変美味しく頂きました。有難う御座いました。

来年も参加したいと思います。よろしくお願ひします。

記 上村 末子



採取したキノコの鑑定

12月1日(土) クリスマスリース作り

3年ぶりのクリスマスリース作りを行いました、いつも人気の行事で今年も41名の参加者がありました(内小人21名)。参加者は思い思いの材料を使いリースを作りました、子供たちはお母さんやおばあちゃんに手伝ってもらい、個性的なリースが出来上がりました。出来たリースは約30個、最後は自分の作ったリースを持って記念撮影を行いました。

担当して頂いた吉井さん、森さん、平野さんには沢山の材料準備から当日の進行までをスムーズに行って頂き大変有難うございました。



フクロウは羽音がしない!?

フクロウの羽を観察すると、他の鳥の羽よりもさわり心地が柔らかく、表面には密に毛が生えています。また、翼の初列風切羽の先端にはノコギリのようなギザギザがたくさんついていますが、好物のネズミなどの音に敏感な哺乳類を狩るため、飛ぶことに必要な分以外の空気を体から逃がし、羽音を立てないようにするため、他の鳥よりも柔らかく風通しのよい羽をもっているのです。

*このフクロウの羽の構造は、風力発電のプロペラや新幹線の騒音対策などに用いられており、人間社会でも役に立っています。

～ねいの里・自然塾の会行事予定 案内～

(ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

- 2月 3日(日) 9:30 ~ 13:00
ねいの里 第3回動物の体を知る・恵みに感謝 場所 ねいの里
シチュー(希望者) 先着30名 : 1杯 大人 200円 中学生以下 100円
(シチューの中身は当日変更となることもあります。)
- 2月 10日(土) 9:30 ~ 12:00
ねいの里カンジキハイキング 場所 ねいの里 (自然塾の会 オプション行事)
- 3月 10日(日) 10:00 ~ 12:00 総会 12:30 ~ 14:00
春一番の生き物を探す・自然塾の会総会 場所 ねいの里

行事への参加希望者はねいの里までお申し込み下さい。

■ 特別展示

- 12月10日 ~ 1月16日 春の七草実物展
- 12月20日 ~ 3月31日 ネーチャーフォト展 自然塾の会写真展

■ お願い ■

- 「生き物ふれあい自然塾の会」会員募集中
皆様のお知り合いで、ねいの里をよくご利用される方がおられましたら、自然塾の会への入会をお薦め下さい。会員の方にはねいの里会報「ふくろう通信」をお送りします。
- 会員の駐車場利用について
会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用する事が出来ます。(冬期間を除く)

発行 富山県自然博物館ねいの里館長 富永 宣宏
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

ふくろう通信

第28号
2013年 1月 1日
自然博物館 ねいの里

新年あけましておめでとうございます。ねいの里今年もよろしくお祈りします。



新年を迎えて

富山県自然博物館館長 富永 宣宏

あけましておめでとうございます。

今年が私が館長に就任し2年目を迎えるとともに、4月からは県との契約による新たな5ヵ年の指定管理がスタートします。

これからの5年間は、今後のねいの里の進路を決定する大切な期間になると思います。というのも、建設当初は全国に先駆けた環境教育の拠点として注目された施設も、老朽化が目立ち、少子化や類似施設の充実などと相まって、近年入園者数は伸び悩んでいるため、抜本的な改革が必要であると考えからず。

この施設がもう一度輝きを取り戻し、県民に愛され必要とされる施設として再生するためには、どのような方向性を持った経営方針で運営していくのか、職員全体で知恵を出し、一致団結して取り組んでいかなければなりません。



ジュニアナチュラリスト

によるピオトープ整備

そのため、昨年は、できるだけ県民に開かれた施設、気軽に立ち寄れる施設、また来くなる施設となるよう、ホームページのリニューアル、ブログ・ツイッターの開設や、展示手法の改善に取り組みました。

また、できるだけわかりやすい展示、興味を持ってもらえる解説に努めたつもりですが、まだまだ不十分であると思っています。今後5年間の園運営についてのキーワードは、一般的には耳慣れない言葉ですが、「生物多様性」であると思っています。

生物多様性に関する取り組みは森や水辺のピオトープ事業で実施していますが、現在県が策定中の生物多様性地域戦略に基づき、「いろいろな生き物が互いに助け合って生息できる豊かな自然環境」を維持していくために、この施設でさらにどのような取り組みができるのか、どのようにしてわかりやすくこの概念を県民に伝えていくのかという点を重視して、運営していきたいと考えています。

今後の園の運営については、できるだけ幅広くいろいろな方の意見をお聞きしながら進めていきたいと考えていますので、ご提言やご要望がございましたら、電話やホームページのお問い合わせコーナーなどを利用いただき、私まで皆さんの声を届けていただければ幸いです。

今年もどうぞよろしくお祈りします



ボランティア団体によるピオトープ整備

お知らせ

自然博物館ねいの里のWeb ページをリニューアルしました! Web ページ以外にもブログやツイッターを開設し、ねいの里の生き物の情報や行事の情報を発信しています。

(Web ページにブログ・ツイッターのリンクを貼ってあります。) 皆様もぜひ、閲覧してご意見等を頂ければ幸いです。

ツイッターID:neinosato

